



『鬼華憐散』

編集長 川俣のレビュー

面白さ	★★★★★
エロさ	★★★★★
ストーリー性	★★★★★
何度も	★★★★☆

■感想

とにかく絵がエロすぎてヤバい一冊。華奢なのに肉感たっぷりのヒロインが汗だくで責められる姿は、見るだけでドキドキします。線がめちゃくちゃ丁寧で、男キャラのゴツさと女の子の柔らかさの対比が最高に映えてるんですよ。内容は無理やりや輪姦といったハード系がメインで、極太やドバドバ描写もガッツリあって容赦なし。でも単なる凌辱で終わらず、どこか妖しい雰囲気や世界観があって没入感も強いです。

セリフ回しにちょっとクセのあるユーモアが混ざってるのも個性的で、重たいだけじゃなく読ませる力があるのもポイント。

値段は少し高めだけど、そのぶんボリュームも満足度もかなり高い仕上がり。ハード展開が苦手な人には向かないけど、刺さる人にはガチで“抜き倒せる”レベルの濃厚エロ本です。

『鬼華憐散』を今すぐ立ち読み